



受賞についての詳細は5ページをごらんください。

1. 先週の市場動向

【先週の市場の振り返り】

＜株式＞	先々週末 2020/4/10	先週末 2020/4/17	前週比
NYダウ (米国)	23,719.37	24,242.49	2.21%
日経平均株価 (日本)	19,498.50	19,897.26	2.05%
DAX指数 (ドイツ)	10,564.74	10,625.78	0.58%
FTSE100指数 (英国)	5,842.66	5,786.96	▲0.95%
上海総合指数 (中国)	2,796.63	2,838.49	1.50%
香港ハンセン指数 (中国)	24,300.33	24,380.00	0.33%
ASX指数 (豪州)	5,387.32	5,487.54	1.86%
MSCI AC アジア (除く日本)	727.46	748.42	2.88%
＜リート＞	先々週末	先週末	前週比
グローバル	514.20	497.89	▲3.17%
アジア・パシフィック (除く日本)	878.18	905.42	3.10%
＜債券＞ (利回り) (%)	先々週末	先週末	前週比
米国10年国債	0.719	0.642	▲0.077
日本10年国債	0.018	0.027	0.009
ドイツ10年国債	▲0.347	▲0.472	▲0.125
英国10年国債	0.306	0.304	▲0.002
＜為替＞	先々週末	先週末	前週比
ドル円	108.47	107.54	▲0.86%
ユーロ円	118.57	116.95	▲1.37%
ユーロドル	1.0937	1.0875	▲0.57%
豪ドル円	68.86	68.45	▲0.60%
＜商品＞	先々週末	先週末	前週比
商品 (CRB指数)	127.82	123.80	▲3.14%
原油先物価格 (WTI)	22.76	18.27	▲19.73%

＜株式＞

米国株式市場は、3月の小売売上高や鉱工業生産など軟調な米経済指標などを受け、景気後退懸念が嫌気されました。一方で新型コロナウイルスの治療薬開発報道やトランプ米大統領が感染拡大のピークは過ぎたとし、経済活動の再開を段階的に進める考えを発表したことなどは好感されました。NYダウは、週間では2.21%上昇しました。日本株式市場は、トランプ米大統領が感染拡大のピークは過ぎたとし、経済活動の再開を段階的に進める考えを発表したことなどを受けた米国株の上昇や、米ハイテク株の上昇などを好感して上昇しました。日経平均株価の週間上昇率は2.05%となりました。欧州株式市場では、DAX指数は0.58%上昇しましたが、FTSE100指数は原油価格下落などを受け0.95%下落しました。中国株式市場は、中国政府による景気対策や金融緩和への期待などを背景に上海総合指数は1.50%、香港ハンセン指数は0.33%上昇しました。

＜リート＞

グローバル・リートは前週大幅に上昇した反動などから3.17%下落しました。

＜債券＞

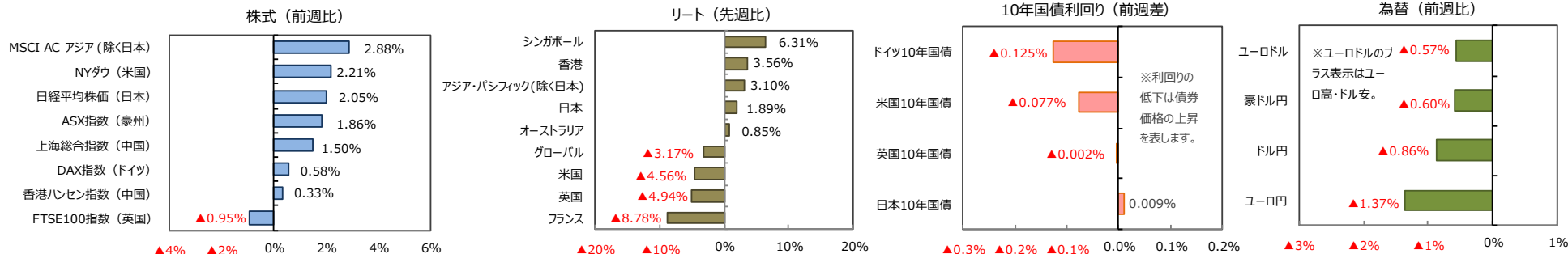
米国の10年国債利回りは、3月の小売売上高や鉱工業生産など軟調な米経済指標を受けて0.077%低下しました。ドイツの長期金利も低下しました。

＜為替＞

円相場は対米ドルでは、米連邦準備制度理事会（FRB）による大規模ドル資金供給や低調な米経済指標などを受け0.86%上昇しました。対ユーロでは1.37%上昇しました。

＜商品＞

原油価格は、主要産油国による減産合意が供給過剰解消には不十分とみられることから19.73%下落しました。



(注) 日経平均株価、上海総合指数、日本10年国債、為替の先々週末は4月10日。その他は4月9日。

(出所) FactSet, Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成



2. 先週のアジア・オセアニア株式・リート市場

【国・地域別の株価指数（現地通貨ベース）、為替レート】

国・地域	先々週末 2020/4/10	先週末値 2020/4/17	前週比
MSCI AC Asia (除く日本)	690.92	727.46	5.29%
香港 (ハンセン指数)	23,236.11	24,300.33	4.58%
シンガポール (ST指数)	2,389.29	2,571.32	7.62%
台湾 (加権指数)	10,157.61	10,597.04	4.33%
韓国 (KOSPI指数)	1,860.70	1,914.53	2.89%
タイ (SET指数)	1,228.03	1,239.24	0.91%
インドネシア (ジャカルタ総合指数)	4,623.43	4,649.08	0.55%
インド (SENSEX指数)	27,590.95	31,159.62	12.93%
オーストラリア (S&P/ASX200指数)	5,067.48	5,387.32	6.31%
為替レート (対円)	先々週末	先週末値	前週比
香港ドル	13.99	13.88	▲0.80%
シンガポールドル	76.75	75.57	▲1.53%
台湾ドル	3.61	3.58	▲0.85%
韓国ウォン (100ウォン当たり)	8.95	8.85	▲1.12%
タイバーツ	3.32	3.31	▲0.37%
インドネシアルピア (100ルピア当たり)	0.68	0.69	1.20%
インドルピー	1.42	1.41	▲0.96%
オーストラリアドル	68.86	68.45	▲0.60%

(注) 株価指数の台湾、韓国、タイの先々週末は4月10日。その他は4月9日。為替の変化率がプラスの場合は各国通貨高・円安、マイナス▲の場合は各国通貨安・円高。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

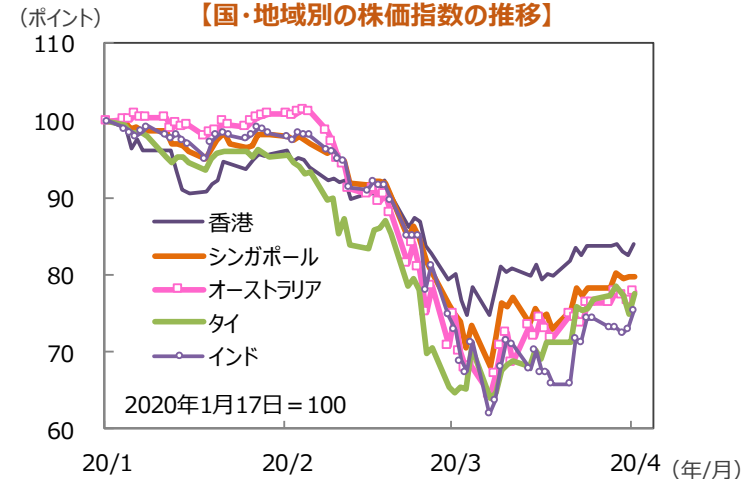
【国・地域別のREIT指数（配当込み、現地通貨ベース）】

国・地域	先々週末 2020/4/10	先週末 2020/4/17	前週比	10年国債 利回り 2020/4/17	配当 利回り 2020/3/31
アジア・パシフィック (除く日本)	878.18	905.42	3.10%		6.80%
香港	788.76	816.81	3.56%	0.72%	4.79%
シンガポール	596.55	634.18	6.31%	1.02%	6.69%
オーストラリア	685.56	691.37	0.85%	0.86%	7.91%
グローバル	514.20	497.89	▲3.17%		5.76%
米国	1,213.32	1,157.98	▲4.56%	0.64%	5.33%
英国	81.60	77.57	▲4.94%	0.30%	4.85%
フランス	371.93	339.29	▲8.78%	0.03%	12.13%
日本	383.06	390.31	1.89%	0.03%	4.80%

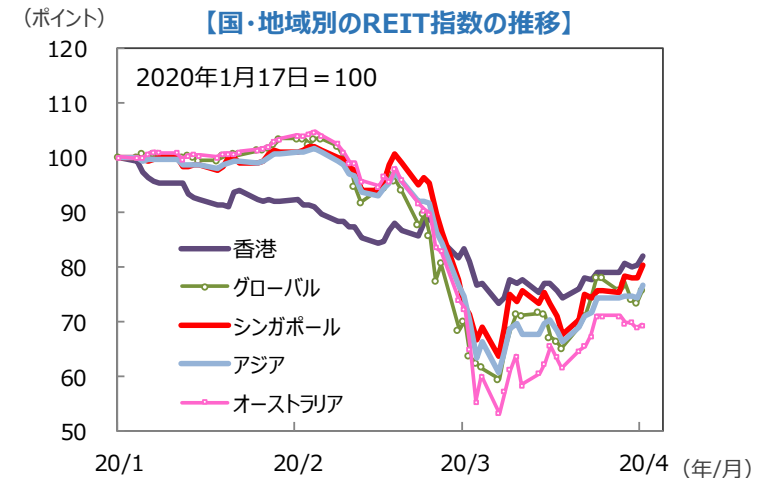
(注) 先々週末は日本が4月10日、その他は4月9日。S&P REIT指数の国・地域別指数（配当込み、現地通貨ベース）。

(出所) FactSet、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【国・地域別の株価指数の推移】

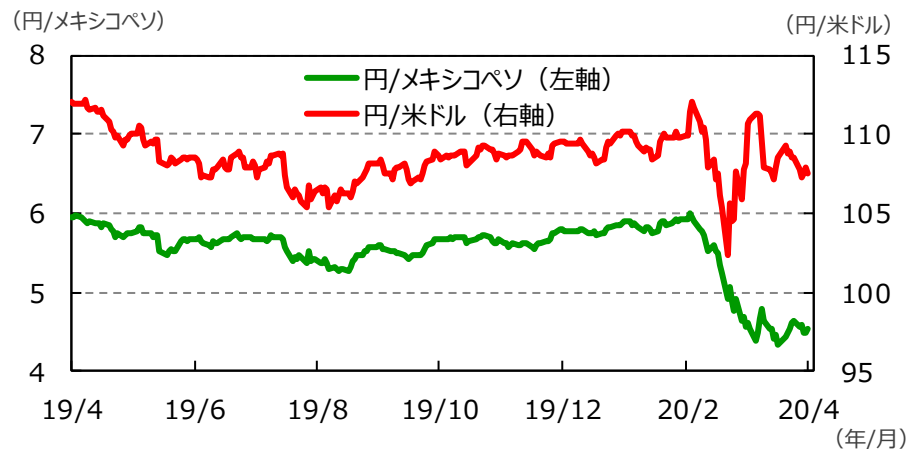


【国・地域別のREIT指数の推移】





3. 先週のメキシコペソ市場



(注) データは2019年4月17日～2020年4月17日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

	2020/4/17	2020/4/10	2020/3/31
円/メキシコペソ	4.53	4.64	4.54
メキシコペソ/米ドル	23.70	23.31	23.67
WTI原油先物	18.27	22.76	20.48
5年債利回り (%)	6.05	6.29	6.48
メキシコ政策金利 (%)	6.50	6.50	6.50

騰落率

	前週比	前月末比	前年末比
円/メキシコペソ	▲ 2.33%	▲ 0.17%	▲ 20.98%
メキシコペソ/米ドル	▲ 1.63%	▲ 0.10%	▲ 20.13%

(注1) 円/メキシコペソと円/米ドルの単位は円、メキシコペソ/米ドルの単位はメキシコペソ。

(注2) メキシコペソ/米ドルの騰落率はメキシコペソの対米ドルでの騰落率。

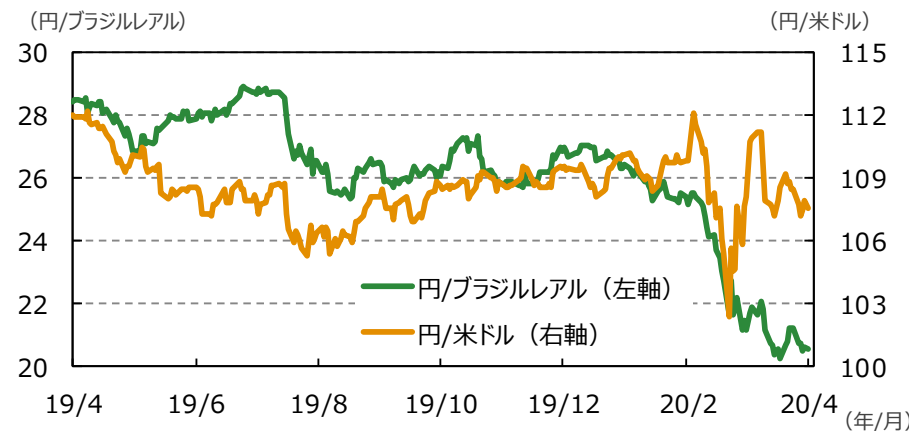
(注3) WTI原油先物価格の単位は米ドル。

(注4) 前週比は20年4月10日から20年4月17日まで、前月末比は20年3月31日から20年

4月17日まで、前年末比は19年末から20年4月17日まで。先週末の5年債利回り、政策金利は4月8日、WTI原油先物は4月9日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

4. 先週のブラジルレアル市場



(注) データは2019年4月17日～2020年4月17日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

	2020/4/17	2020/4/10	2020/3/31
円/ブラジルレアル	20.54	21.23	20.66
ブラジルレアル/米ドル	5.235	5.108	5.206
鉄鉱石	84.53	83.71	88.02
ブラジル政策金利 (%)	3.75	3.75	3.75

騰落率

	前週比	前月末比	前年末比
円/ブラジルレアル	▲ 3.25%	▲ 0.60%	▲ 23.89%
ブラジルレアル/米ドル	▲ 2.42%	▲ 0.55%	▲ 23.01%
鉄鉱石	0.98%	▲ 3.97%	▲ 7.65%

(注1) 円/ブラジルレアルと円/米ドルの単位は円、ブラジルレアル/米ドルの単位はブラジルレアル。

(注2) ブラジルレアル/米ドルの騰落率はブラジルレアルの対米ドルでの騰落率。

(注3) 鉄鉱石はシンガポール取引所の鉄鉱石先物価格 (米ドル)。

(注4) 前週比は2020年4月10日から2020年4月17日まで、前月末比は2020年3月31日から2020年4月17日まで、前年末比は2019年末から2020年4月17日まで。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成





5. 今週の主な注目材料

日付	米国	日本	欧州	アジア・オセアニア・その他
4/20 (月)		3月コンビニエンスストア売上高 3月貿易収支		
4/21 (火)		3月スーパーマーケット売上高		豪中銀の金融政策会議事要旨☆
4/22 (水)			ユーロ圏4月消費者信頼感指数☆	
4/23 (木)	4月マーケットPMI製造業・サービス業・総合指数 3月新築住宅販売件数		ユーロ圏4月マーケットPMI製造業・サービス業・総合指数	
4/24 (金)	3月耐久財受注☆	3月全国消費者物価指数 (CPI) ☆ 3月全国百貨店売上高	ドイツ4月IFO企業景況感指数	
☆ 今週の注目点	今後の景気動向を占う上で3月耐久財受注などが注目されます。	今後の金融政策を占う上で3月全国消費者物価指数 (CPI) などが注目されます。	今後の景気動向を占う上でユーロ圏4月消費者信頼感指数などが注目されます。	豪州の今後の金融政策を占う上で豪中銀の金融政策会議事要旨などが注目されます。

※各経済指標・イベントは予定であり、変更されることがあります。

先週の注目の「マーケット・デイリー」

[2020年4月14日 米国株式市場～成長期待への信認は回復過程へ](#)

[2020年4月14日 世界の「投信マネー」\(2020年3月\)](#)

先週の「マーケット・ウィークリー」

[2020年4月13日 先週のマーケットの振り返り\(2020/4/6-4/10\)](#)

先月の「マーケット・マンスリー」

[2020年4月6日 先月のマーケットの振り返り\(2020年3月\)](#)

先週の注目の「マーケット・キーワード」

[2020年4月13日 運用者の視点：中国『新型コロナ対策から経済対策』へ](#)

弊社マーケットレポート 検索!!



【重要な注意事項】

【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、投資信託は**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 **上限3.85%（税込）**
 - ・・・換金（解約）手数料 **上限1.10%（税込）**
 - ・・・信託財産留保額 **上限1.75%**

- ◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 **上限年 3.905%（税込）**

- ◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、あらかじめその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由によりあらかじめ具体的に記載することはできません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友DSアセットマネジメントが運用するすべての投資信託における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を必ず事前にご覧ください。

投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。投資信託は、クローズド期間、国内外の休業日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

（2019年12月30日現在）

三井住友DSアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

「R&I顧客満足大賞2019（総合、「年金情報」「ファンド情報」調査）」は、R&Iが年金基金と投信販売会社それぞれに対して実施したアンケートに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。アンケートの集計方式については、2019年6月3日付「年金情報」、もしくは2019年5月27日付「ファンド情報」掲載の当賞に関する記事を参照ください。当賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務）であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

